



### 18 伊藤博文公 書

揚明輝(秋の月は輝きを発揚する)陶淵明(トウエンメイ)の漢詩「四時歌」の秋の一句を引用しています。「春水満四澤、夏雲多奇峰、秋月揚明輝、冬嶺秀孤松」浮月楼の名前を見て、すぐにこの詩を思い浮かべられたそうです。



### 17 慶喜公 書

家蔵千卷の富  
千卷の富を賞でる縁起のよい言葉



### 16 棗の手水鉢

地主の野崎彦左衛門からいただきました。



### 15 菊花紋灯籠

明輝館の前に立つ大きな灯籠に菊の紋章が目を引きまます。小松宮彰仁親王よりいただいたものとの説もあります。



### 14 船着き灯籠

かつての浮月楼では池に小舟を浮かべて遊んだと伝えられています。舟着場の点景として置かれた灯籠かと思われます。



### 13 桜の木

大きく枝を広げる桜の古木です。ソメイヨシノより1ヶ月近く早く、3月初旬に見ごろを迎えます。彼岸桜の一種とされます。



### 11 三月堂灯籠



### 12 梅林

水戸徳川家ご出身の慶喜公が水戸をしのいで造らせたといわれる梅林です。春を間近に控えた1~2月ごろ見ごろを迎えます。



### 10 石碑「和寛」

明治35年、慶喜公がご来館になった記念に作られました。最上部に慶喜公の書を彫り、浮月楼を題材にした秋月種樹さまの漢詩と、中邨秋香さまの由来文を配してあります。



### 9 濡鷺型灯籠



### 8 お茶室

戦災の後、建てられたお茶室です。池に浮かぶ風情が美しく、婚礼の写真撮影やお茶会で人気を集めます。



### 7 子福稲荷

子宝に恵まれるとの言い伝えがある稲荷神社です。江戸時代からあります。



### 6 春楡

樹齢100年以上。北国の木で北海道大学の構内にあります。この地方では珍しい木です。



### 5 善導寺型灯籠

京都・二条の善導寺の灯籠に由来する、善導寺形といわれる灯籠です。

### 21 泰山木

名前は中国風ですが北米原産の木です。太い幹に似合う大きく真っ白な花を5月下旬~6月に咲かせます。花は梢にあって、木の下からはなかなか気づきませんが、遠くから眺めると見事な花姿を楽しめます。

北門

20

19

18

17

21

16

15

13

14

11

12

10

9

8

4

23

1

3

浮月楼(本館)

2

5

6

### 19 つくばい

(家康公の筆洗い)  
家康公が使ったわけではなく、いつの頃からかそう呼ばれています。駿府城の中にあった品であろうとされています。



### 20 慶喜公お手植え「台湾竹」

新しい文物を好まれた慶喜公は当時珍しかった台湾の竹をお手植えになりました。秋に筍が伸びてくる不思議な竹です。



### 22 元勳 井上馨侯爵 ゆかりの石塔

明治の元勳・井上馨侯爵が明治時代、興津(現静岡市清水区)に築いた別荘に戦前あったものです。

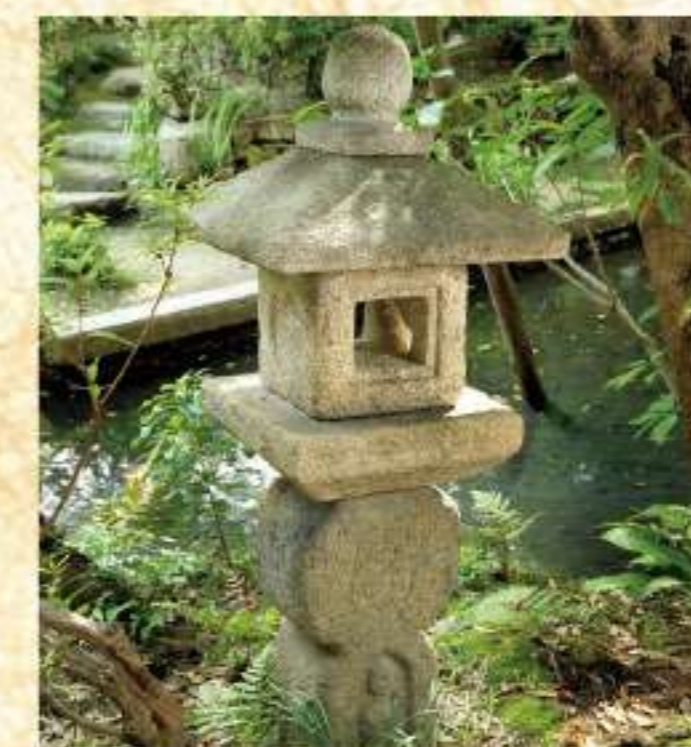


### 23 弓反り橋

古い昔から池に景を添えている木橋です。かつてはこの橋の上にお客様が勢揃いして記念写真を撮影したこともありました。



### 3 慶喜公歴史コーナー



### 4 織部式灯籠

池のほとりに立つ古い灯籠です。新田次郎さまの小説「怒る富士の中にも登場しました。

### 1 慶喜公 書

「万事(ばんじ)、花下(かか)に酔うに如(し)くは莫(な)く、百年、渾(すべ)て夢中に狂(くる)するに似たり」



### 2 伊藤博文公 書

明治33年、浮月楼にお越しになった時に書かれた書。



徳川慶喜公屋敷跡



# 庭園の見所

慶喜さまのお屋敷として二十年、そして静岡の迎賓館として百二十年。その歳月は庭や建物のあちこちに結晶して、訪れられた方々に古い昔の出来事を語りかけてきます。

庭の面積: 2,100坪  
作庭: 小川治平衛 (京都の庭師)